

図書館通信

第20号 10月17日(金)
名古屋経済大学
高蔵高等学校・中学校 発行

10月の「企画展示」テーマは「経済」！



10月の「企画展示」として、「経済」に関する本が展示されています。それらの中でも、私がお勧めするのは、**吉川洋『人口と日本経済 長寿、イノベーション、経済成長』(中公新書、2016年)**です。日本を代表する経済学者が、経済成長は人口減少社会であっても可能であることを分かりやすく論じた好著です。同じ著者の『**高度成長 日本を変えた六〇〇〇日**』(中公文庫、2012年)も読み応えがあって、おもしろいです。ぜひ読んでみてください。なお、図書委員が制作した「新着図書ポスター」が新しくなりました。職員室中央扉横や図書館入口前などに掲示されています。こちらの力作もご覧ください。

さて、今号の通信で紹介する本も、戦争に関連するものです。**伊藤剛『なぜ戦争は伝わりやすく平和は伝わりにくいのか ピース・コミュニケーションという試み』(光文社新書、2015年)**です。「戦後70年」という節目に出版された本書ですが、その中で提示されている、戦争と平和をめぐるアポリアは、今でも一考に値します。一つめの難問は「**正義か平和か？**」。シエラレオネ紛争(1991年～2002年)を事例に取り上げて、戦争が始まると、「正義」を犠牲にすることでしか、「平和」が実現しないこともありうる論じます。その場合、「正義」と「平和」のどちらを優先すべきなのでしょう。もう一つの難問は「**正戦か反戦か？**」。「平和を脅かす存在」を「絶対悪」と見なす国際社会では、それを武力で排除することは、「正義」に叶うと考えられています。一方の日本では、いかなる理由があっても、武力の使用を認めない立場が一般的です。戦争を「正しい」、「正しくない」と判断することは可能なのか、それとも、戦争はどんな場合であれ、「正しくない」のか。10年前の本ですが、これら二つの問いは、ウクライナ戦争やガザ紛争などを目の当たりにしている私たちにとっても、重要性を失っていないと思います。

加えて、本書での興味深い指摘として、**「これからの平和教育では、「なぜその戦争が起きたのか？」を改めて問うべき**」

としていることです。「戦争を繰り返さない」ためには、戦争体験者がいなくなる時代にこそ、戦争の勃発した原因を突き止め、再発防止に努める「当事者性」を高めなければならぬと強調しています。この指摘もまた、今の私たちにとって切実なものではないでしょうか。



図書館Instagramはこちら⇒

TAKAKURA_LIBRARY



新着図書案内



【B081 文庫本】

- * ストロベリームーン 芥川なお著 すばる舎
- * 博物館のファントム；箕作博士の事件簿 伊予原新著 集英社
- * 消えた春；特攻に散った投手 石丸進一 牛島秀彦著 河出書房新社
- * ババヤガの夜 王谷晶著 河出書房新社
- * 小説 8 番出口 川村元気著 水鈴社
- * あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。
あゝ星が降る丘で、君とまた会いたい。
汐見夏衛著 スターツ出版
- * 答えは風のなか 重松清著 新潮社
- * ガリヴァー旅行記 スウィフト著 岩波書店
- * 翼をください；新装版 原田マハ著 毎日新聞社
- * 学生街の殺人 東野圭吾著 講談社
- * でっちあげ；福岡「殺人教師」事件の真相 福田ますみ著 新潮社
- * 龍ノ国幻想 8 呱呱の声 三川みり著 新潮社
- * 京都寺町三条のホームズ 20～22 望月麻衣著 双葉社
- * 名古屋お疲れメシ通信 森崎緩著 双葉社
- * 戦争と漫画 戦地の物語/銃後の物語/焦土の記憶 山田英生編 筑摩書房
- * 国宝 上 青春篇
- * " 下 花道篇 吉田修一著 朝日新聞出版

【S081 新書本】

- * 逃げ続けたら世界一周していました 白石あづさ著 (岩波ジュニア新書)
- * 共感の論理；日本から始まる教育革命 渡邊雅子著
- * 藤原摂関家の誕生；皇位継承と貴族社会 瀧浪貞子著
- * 難聴を生きる；音から隔てられて 宿谷辰夫他編 (以上 岩波新書 新赤版)
- * 太平洋戦争への道 1931-1941 半藤一利・加藤陽子・保阪正康編著 (NHK 出版新書)
- * 「あの戦争」は何だったのか 辻田真佐憲著 (講談社現代新書)
- * 生きる言葉 俵万智著 (新潮新書)
- * 独断と偏見 二宮和也著 (集英社新書)
- * 独仏関係史；三度の戦争から EU の中核へ 川嶋周一著 (中公新書)
- * 「平和宣言」全文を読む ヒロシマの祈り
" ナガサキの願い
早稲田大学出版部編 (早稲田新書)

【000 総記】

- * 「ふるさと回帰」という選択；広がる地方移住 澤千絵著 岩波書店
- * 日韓条約 60 年後の真実；韓国併合とは何だったのか 和田春樹著 岩波書店
- * 被ばく「封じ込め」の正体；広島・長崎・ビキニ・福島の声から 小山美砂他著 岩波書店

【200 歴史】

- * 第二次世界大戦；現代世界への転換点 木畑洋一著 吉川弘文館
- * 14 歳のヒロシマ；被爆者が伝える戦争と平和のはなし 梶本淑子著 河出書房新社
- * フランスの歴史を知るための 50 章 中野隆生・加藤玄編著 明石書店

【300 社会科学】

- * わすれないヒロシマ・ナガサキ 1 原爆はなぜ落とされた 安斎郁郎著・監修 新日本出版社
- * 知らない恥をかく世界の大大問題 16；トランプの“首領モンロー主義時代” 池上彰著 KADOKAWA
- * 沖縄「平和宣言」全文を読む 諸見里道浩解説 高文研
- * こうやって頭のなかを言語化する。 荒木俊哉著 PHP 研究所
- * 世界国勢図会 2025/26 世界がわかるデータブック 矢野恒太記念会編 矢野恒太記念会
- * あなたが「一番輝く」仕事を見つける最強の自己分析 梅田幸子著 KADOKAWA
- * 登山家・冒険家になるには 神長幹雄著 ペリかん社
- * 京都情報大学院大学 長谷川亘 神代浩著 悠光堂
- * アマゾンのふしぎな森へようこそ！；先住民の声に耳をすませば 南研子著 合同出版

【400 自然科学】

- * 図解初めて学ぶ 数学のせかい サラ・ハル著 晶文社
- * クマはなぜ人里に出てきたのか 永幡嘉之著 旬報社
- * 認知症は決断が 10 割 長谷川嘉哉著 かんき出版

【700 芸術】

- * ひろしまのピカ 丸木俊著 小峰書店
- * おきなわ 島のこえ 丸木俊・丸木位里著 小峰書店
- * 歌は世につれ♪流行歌で振り返る昭和 100 年 合田道人著 笠間書院
- * 昭和流行歌謡界隈の歩き方；人生を豊かにする名曲とその味わい 齋藤孝著 白秋社

【800 言語】

- * さみしい夜にはペンを持って 古賀史健著 ポプラ社

【900 文学】

- * クロエとオオエ 有川ひろ著 講談社
- * 赤ずきん、イソップ童話で死体と出会う。 青柳碧人著 双葉社
- * 乱歩と千畝 青柳碧人著 新潮社
- * 翠雨の人 伊予原新著 新潮社
- * サイレントシンガー 小川洋子著 文藝春秋
- * 普天を我が手に 第一部 奥田英朗著 講談社
- * 珈琲怪談 恩田陸著 幻冬舎
- * 光のうつしえ；広島 ヒロシマ 広島 朽木祥著 講談社
- * 熟柿 佐藤正午著 角川書店
- * 八秒で跳べ 坪田侑也著 文藝春秋
- * 災疫の季節 中山七里著 角川春樹事務所
- * 彷徨う者たち 中山七里著 NHK 出版
- * ミルキーウェイ；竹雀農業高校牛部 堀米薫著 新日本出版社
- * 蛭たちの祈り 町田そのこ著 東京創元社
- * Garden；8 月 9 日の父をさがして 森越智子著 童心社
- * こうふくろう 薬丸岳著 小学館
- * やなやつ改造計画 吉野万理子著 あすなろ書房
- * パンプキン！ 模擬原爆の夏 令丈ヒロ子著 講談社
- * 対馬の海に沈む 窪田新之助著 集英社
- * 海をわたる被爆ピアノ 矢川光則著 講談社
- * ビスケット キム・ソンミ著 飛鳥新社
- * モノクロの街の夜明けに ル・タセ・テイタ著 岩波書店
- * 七月の波をつかまえて ホール・モーシャール作 岩波書店